

諏訪湖流域下水道の概要

東洋のスイスと呼ばれる諏訪地方のシンボルである諏訪湖は、昭和30年代後半頃から、周辺地域の発展・生活水準の向上に伴い富栄養化が急速に進行し、植物性プランクトンによる水の華の発生(アオコ)により湖岸へ付着し、悪臭、魚類のへい死などの被害が発生するようになりました。

諏訪湖流域下水道は、諏訪湖、流出河川である天竜川及び流入河川の水質保全と生活環境改善のため、長野県と流域の関連市町村が協力して効率的に下水道整備を行う流域下水道事業を、昭和46年度に下水道事業認可を受け、翌年度から工事着手して昭和54年10月に一部供用開始しました。

平成7年度からは、諏訪湖の水質改善を更に促進するために水処理施設において高度処理を一部供用開始し、平成16年度には既存系列改造も含めて全施設が高度処理施設となりました。

さらに、平成10年8月からは污泥焼却灰を資源化する溶融結晶化施設を供用開始しました。

また、平成28年4月より白樺湖特定環境保全公共下水道(茅野市及び立科町の一部)は廃止され、諏訪湖流域下水道へ編入しました。

流域下水道全体計画諸元	
事業主体	長野県
関係市町村	岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、 原村、富士見町、立科町
施行年度	昭和46年度～平成32年度
事業費	1,050億円
終末処理場	豊田終末処理場(18.7ha)
処理方式	凝集剤併用型循環式硝化脱窒法+急速ろ過法
	A系：71,700m ³ /日(23,900m ³ ×3系列) B系：66,000m ³ /日(33,000m ³ ×2系列)
排除方式	分流式
計画汚水量	137,700m ³ /日最大
計画処理面積	7,858ha
計画処理人口	189,160人

平成27年3月31日現在

計画日最大汚水量(m ³ /日)			
種別			
家庭		78,973	
工場		19,000	
温泉		8,130	
観光	内訳	日帰り	4,625
		宿泊	8,824
		別荘	3,990
地下水		14,173	
合計		137,715	

平成27年3月31日現在

関連公共下水道計画									
市町村	種類	着手年度	供用開始年月日	面積			人口		
				行政区域(ha)	計画区域(ha)	計画面積率(%)	行政区域(人)	計画区域(人)	計画人口率(%)
岡谷市	公共	昭和49年	昭和54年10月1日	8,514	1,636	20.8	49,500	49,500	26.2
諏訪市	公共	昭和48年	昭和54年10月1日	10,991	1,815	23.1	53,600	53,300	28.2
	特環	昭和56年	昭和59年1月1日						
茅野市	公共	昭和49年	昭和56年2月27日	26,588	3,246	41.3	54,600	55,810	29.5
	特環	昭和59年	昭和61年3月31日						
下諏訪町	公共	昭和49年	昭和54年10月1日	6,690	575	7.3	20,400	20,400	10.8
富士見町	公共	平成2年	平成5年9月1日	1,838	244	3.1	14,500	2,900	1.5
原村	特環	昭和60年	昭和63年4月1日	4,323	311	4.0	7,300	7,100	3.7
立科町	特環	昭和51年	昭和56年3月31日	335	31	0.4	150	150	0.1
流域計				59,279	7,858	100.0	200,050	189,160	100.0

※行政区域面積及び行政区域人口は白樺湖特定環境保全公共下水道区域を除いた数値

平成27年3月31日現在